

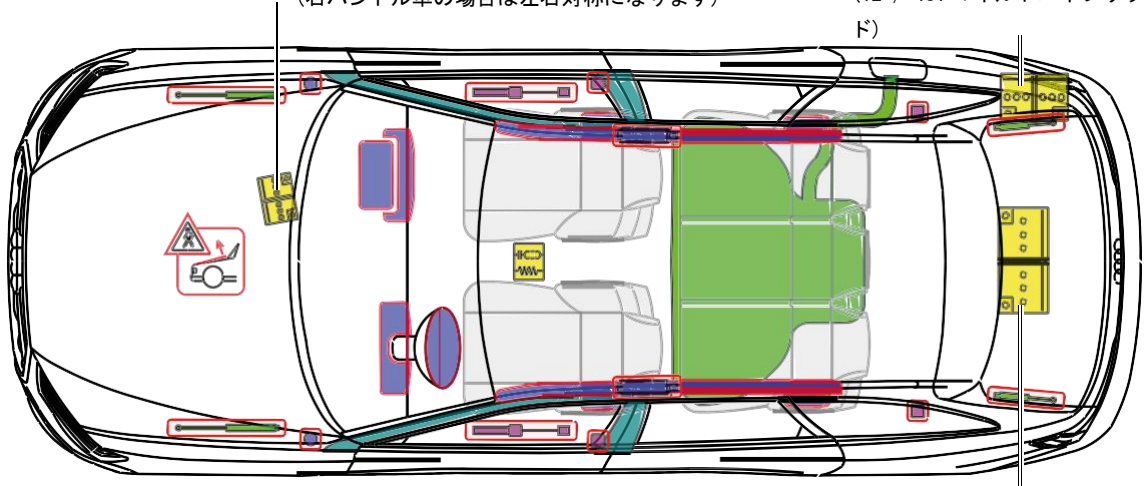
# Audi A6 / S6 / RS6 Avant

注：EU 仕様のためハンドル位置等細部が異なる場合がある

2018 年以降

12V リチウムイオンバッテリー (12V マイルドハイブリッド)  
(右ハンドル車の場合は左右対称になります)

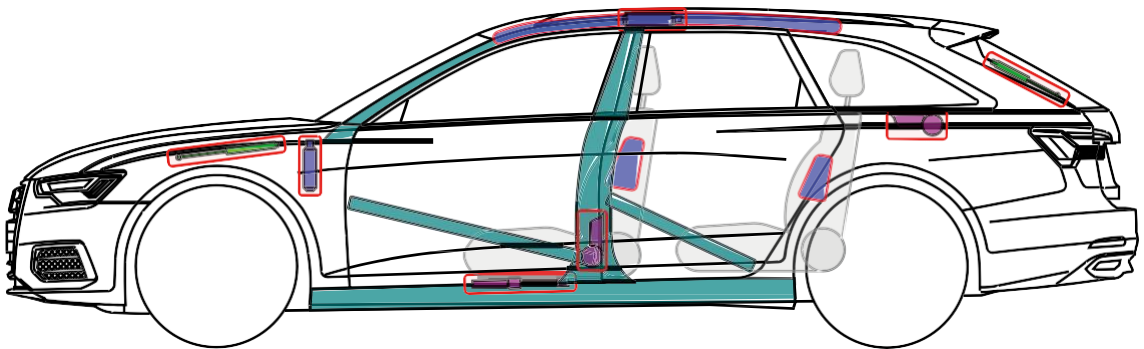
12V 鉛バッテリー  
(12 / 48V マイルドハイブリッド)



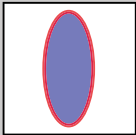
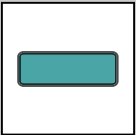
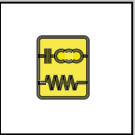

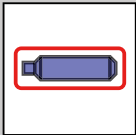

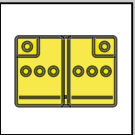
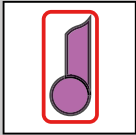
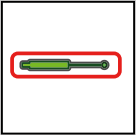

12V 鉛バッテリーまたは  
48V リチウムイオンバッテリー  
(48V マイルドハイブリッド)



**警告 48V：アーク放電が発生するおそれがあります。48V バッテリーを外す前にイグニッションスイッチをオフにしてください。**



## システム配置図

	エアバッグ		ボディ補強		SRS コントロール ユニット		歩行者プロ テクション システム
	ステアード ガス インフ レーター		オート マチック ロール バー		12V/48V バッテリー		
	ベルト テンショナー		ガス ストラット		燃料タンク		



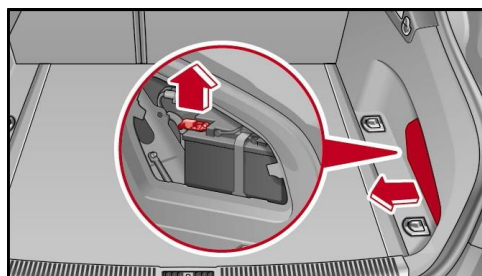
## ▶ Audi A6 / S6 / RS6 Avant 48V Mildhybrid

注：EU仕様のためハンドル位置等細部が異なる場合がある

2018年以降

### 12V 鉛バッテリー

- バッテリーカバーを取り外す。
- 12V バッテリーのマイナス側端子を外す。



### 48V リチウムイオンバッテリー

**⚠** エアバッグが展開するような事故が発生すると、48V リチウムイオンバッテリーが自動的に遮断されます。

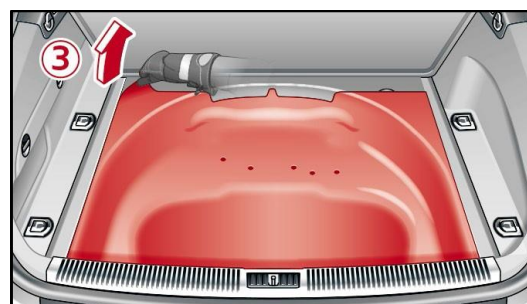
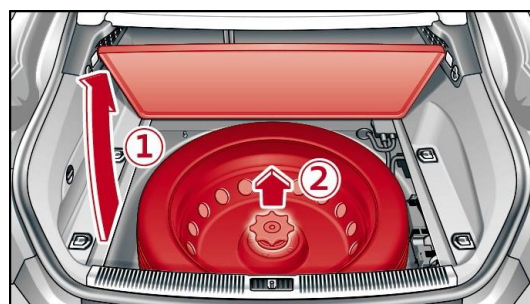
いかなる場合においても、車両の供給電圧を遮断するためには、12V 鉛バッテリーに加えて 48V リチウムイオンバッテリーを個別に遮断する必要があります。

**⚠** 警告！ 48V でのアーク放電による危険

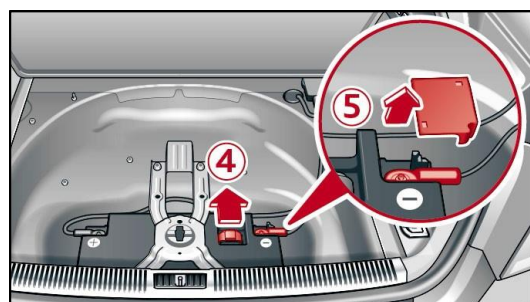
**⚠** 48V バッテリーを外す前にイグニッションスイッチをオフにしてください。

アーク放電によるリスクを最小限に抑えるために、以下の手順でバッテリーを遮断することを推奨します：

1. ラゲージルームからフロアパネルを取り外す。
2. スペアタイヤとツールキットを取り外す。
3. 図のようにスペアホイールリセスのライニングを外す。



4. コネクターを外す。
5. 右側の端子カバーを外して、48V リチウムイオンバッテリーのマイナス側端子を外す。



## ▶ Audi A6 Avant 12V Mildhybrid

注：EU 仕様のためハンドル位置等細部が異なる場合がある

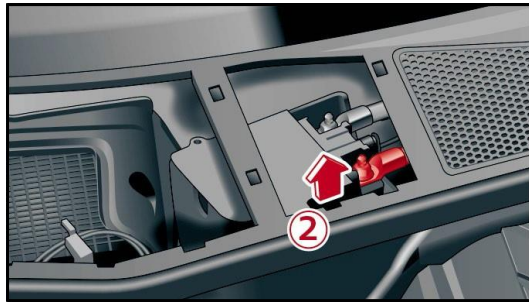
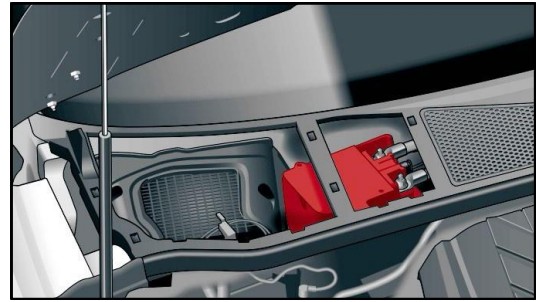
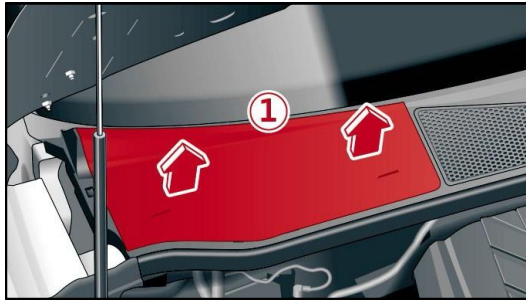
2018 年以降

### 12V リチウムイオンバッテリー

**⚠ エアバッグが展開するような事故が発生すると、12V リチウムイオンバッテリーが自動的に遮断されます。**

いかなる場合においても、車両の供給電圧を遮断するためには、12V 鉛バッテリーに加えて 12V リチウムイオンバッテリーを個別に遮断する必要があります。

1. エンジンルームのカバーを外す。 → 12V リチウムイオンバッテリーに手が届く状態にする。
2. 12V リチウムイオンバッテリーのマイナス側端子を外す。



図は左ハンドル車の例  
(右ハンドル車の場合は左右対称になります)